

学科名	情報ビジネス科
コース名	
授業科目	スポーツ実習 2
必選	選
年次	2年次
実施時期	通年
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	井上
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	スポーツ合宿等を通してコミュニケーションを図ります。
到達目標	この科目では、習得した滑走技術を駆使し、あらゆる雪質や斜面を安全に滑走できるようになることを目標とする。初心者、両スキーが平行に回転する感覚を身につけ、最終的には初歩的なパラレルターンができるようになることを目標とする。初級者は、今後の上達に弊害を及ぼすクセを修正し、中斜面でもパラレルターンができるようになることを目標とする。
授業方法	冬季スポーツとして実際のスキー場でスキー、もしくはスノーボーを行うものとする。
成績評価方法	授業への取り組みなどを総合的に評価する。
履修上の注意	各自、自己のスキルにあったスキー・スノーボードスクールのコースを事前に選択すること。コース選択時に決して無理のないコースを選択するようにし、各コースのインストラクターの指示のもと、安全な滑走に努めること。自由滑走時には、必ず数名のグループで行動し、決して単独行動をすることがないようにする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位として認定することができない。
教科書・教材	レジュメ・資料を配布する。

授業計画	
第1回	事前説明・オリエンテーション(全行程の大まかな理解と個々の目標を理解する)
第2回	スキー・スノーボードスクール(1)(各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする)
第3回	スキー・スノーボードスクール(2)(各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする)
第4回	自由滑走(1)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第5回	自由滑走(2)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第6回	オリエンテーション(1)(他者との意見交換をし、技術習得ができていないかの確認をする)
第7回	自由滑走(3)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第8回	自由滑走(4)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第9回	自由滑走(5)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第10回	自由滑走(6)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第11回	オリエンテーション(2)(他者との意見交換をし、技術習得ができていないかの確認をする)
第12回	自由滑走(7)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第13回	自由滑走(8)(スクール時に習った技術を確認し理解する)
第14回	レポート作成(レポートを作成し、理解できたか習得できたかの確認をする)
第15回	成果発表(各自この科目にて得た成果などについて発表をする)